



横浜市立岡村小学校・学校だより R元.7.23 学校ホームページURL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

夏休み、子どもたちの健全育成のために、見守り、ご指導・ご助言をお願いします。

校長 齋藤 有厚 さいとう ともあつ

7月7日（日）から2泊3日、5年子浦宿泊体験学習を実施しました。子浦は、西伊豆にある横浜市の臨海施設です。日頃、体験することのできない海体験（シュノーケリング、シーカヤック、カッターボート）に、そして、鯨の干物作り、キャンプファイヤーに、子どもたちは夢中になって取り組みました。帰校式での子どもたち、少し疲れた様子は見られましたが、そうした活動をやり切った充実感に満ち溢れていました。この教育活動を安全にかつ充実したものにするために、教職員は細心の注意を払い、指導・管理に臨みました。その苦勞を吹き飛ばす、子どもたちの成長があったように思います。ご理解・ご協力いただきました当該学年の保護者の皆様に、深く感謝します。

さて、二日間の岡村夏学校を経て、明日24日（水）より8月26日（月）までの34日間、夏休みに入ります。子どもたちにとっては魅力的な時間ですし、大切にしたい時間です。とは言うものの、裏面の「夏休みの過ごし方～安全指導・管理のこと～」に示した通り、子どもの心配な行動、事件に巻き込まれることが想定される行動がとても気になります。それ以外にも、放課後に、地域の商店での買い物や公園での遊び方等で連絡をいただいたことも多々ありました。全ての岡村っ子が、この夏休み、健康に安全に、そして、自分の立てた目標や計画に従って、充実した毎日を過ごせますように、保護者、地域の皆様の子どもの見守り、ご指導・ご助言をよろしくお願いします。子どもたちの益々の成長を楽しみにしています。学校への連絡が必要な場合には、どうぞお知らせください。

ところで、私自身もチーム岡村（教職員集団）とともに、4か月間を振り返っています。PTAの皆様にもご協力いただき岡村オリンピックの安全対策を推進したこと、オリンピック・パラリンピック教育の視点から岡村オリンピック等をブラッシュアップしたこと、ICT支援員と協働で進めるプログラミング教育が順調にスタートしたこと、校長検定テストを2か月間（4回）実施したこと等、多くの成果を確認しています。一方、長期の休みが続いている子ども、毎日、遅刻がちな子ども、保健室に足を運ぶことの多い子どもたちへのサポート・配慮等について、さらに努力が求められることも強く感じています。この夏休み期間も、学級担任や児童支援専任を窓口、保護者との連携を大切にしていきたいと思っております。

【追伸】夏休み明け、9月12日（木）に、道徳授業力向上推進校（市からの委嘱事業）として全学級で道徳科公開授業研究会を開催します。保護者の皆様にも授業を参観いただければと願っています。オリンピック・パラリンピックに関わる「人・もの・こと」の教材化を進めています。子どもたちが自分の生き方に向き合える時間になればと願っています。